通級指導教室の役割

通級指導教室は、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導を行い、通級で学んだことを学校生活や家庭生活等で生かし、学習や生活での困難を改善したり、克服したりすることを目指します。そのために、以下の役割を担います。

○　通級による個別の指導計画の作成と指導

通級に通う児童生徒やその保護者の思いは様々です。一人一人の思いや願いなどに耳を傾け、寄り添いながら、どのような指導や支援がよいのかを考えます。一人一人に、適切で的確なアセスメントを実施し、状態に即した個別の指導計画を作成して、計画的に指導を行います。

○　保護者との協働

保護者のニーズや疑問、不安に寄り添い、相談や助言、情報の提供等を行います。通級での指導のねらいを保護者と共有し、一緒に学校生活や家庭生活、子育て等について考えていきます。

○　在籍校との連携

児童生徒が、自信をもって充実した学校生活を送ることができるように、在籍校の先生方と個別の教育支援計画や個別の指導計画について共通理解し、連携して指導を行います。児童生徒の状況や状態に応じて、在籍校訪問、特別支援教育コーディネーターや学級担任との懇談、校内委員会への参加、理解啓発のための出前授業、担任支援等を行っています。

○　その他関係諸機関との連携

行政、医療機関、療育機関等専門機関とも連携しながら、児童生徒の全体像を的確に把握し、本人の自己実現が図られるようにしていきます。

（参考：「障害に応じた通級による指導の手引き」文部科学省）

令和7年度　通級指導教室　設置校

区	学校名	設置教室
北	松浜小学校	まなび
	葛塚東小学校	ことば・きこえ・まなび
東	東山の下小学校	ことば・まなび
	竹尾小学校	まなび
	東中野山小学校	まなび・巡回
	南中野山小学校	まなび・巡回
	江南小学校	まなび・巡回
	石山中学校	まなび
江南	亀田西小学校	ことば・まなび
秋葉	新津第一小学校	ことば・きこえ・まなび
	荻川小学校	ことば・まなび
	新津第二小学校	まなび・巡回
	結小学校	まなび・巡回
	阿賀小学校	まなび・巡回

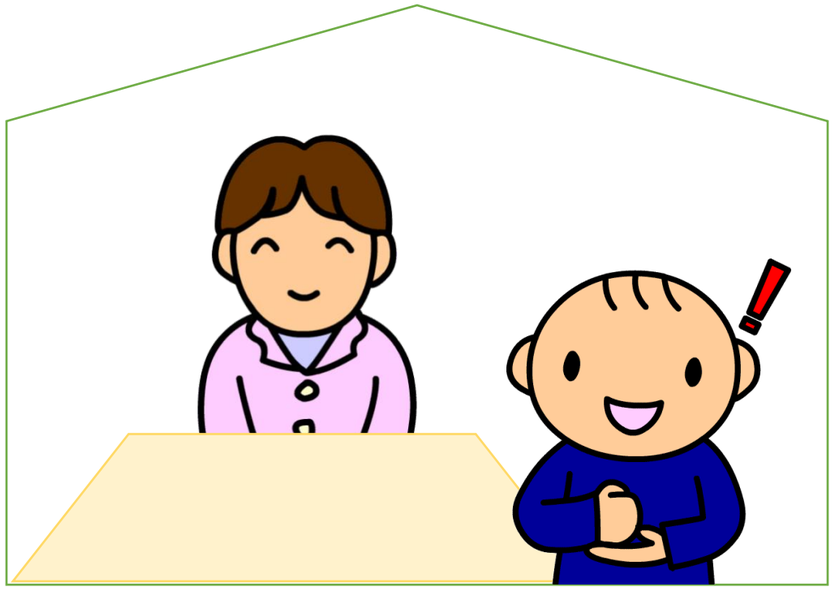
区	学校名	設置教室
中央	鏡淵小学校	ことば・きこえ・まなび
	万代長嶺小学校	ことば・きこえ・まなび
	沼垂小学校	まなび・巡回
	桜が丘小学校	まなび・巡回
	紫竹山小学校	まなび・巡回
	浜浦小学校	まなび
	関屋小学校	まなび・巡回
	日和山小学校	まなび・巡回
	有明台小学校	まなび・巡回
	関屋中学校	まなび・巡回
	鳥屋野中学校	まなび・巡回
	白新中学校	まなび
	寄居中学校	まなび・巡回
	高志中等教育学校	まなび・巡回
	明鏡高等学校	まなび
	万代高等学校	まなび・巡回

区	学校名	設置教室
南	白根小学校	ことば・まなび
	茨曽根小学校	まなび・巡回
	小林小学校	まなび・巡回
	月潟小学校	まなび・巡回
	大通小学校	まなび・巡回
	白根北中学校	まなび
西	内野小学校	ことば・まなび
	黒埼南小学校	まなび
	立仏小学校	まなび・巡回
	大野小学校	まなび・巡回
	小新中学校	まなび
西蒲	巻南小学校	ことば・きこえ・まなび

令和７年度

知っていますか？
通級指導教室のこと

新潟市の通級指導教室のご案内



新潟市教育委員会

通級指導教室・「通級による指導」とは？

文部科学省調査では、「特別な教育的支援を必要とする児童生徒は、通常の学級に8.8％在籍する」とされ、「通級による指導」のニーズは、年々高まっています。
新潟市では、「ことば」、「きこえ」、「まなび」の通級指導教室を設置しています。「ことば」と「きこえ」の通級指導教室は小学校に、「まなび」の通級指導教室は、
小学校、中学校、高等学校に設置しています。「通級による指導」は、通常の学級に在籍する児童生徒が、大部分の授業を通常の学級で受けながら、一部の授業について、
学習上又は生活上の課題の改善・克服を目的とした指導（自立活動の指導）を「通級指導教室」で受ける指導の形態です。通級する時間帯は、学級の授業時間と放課後の時間も使えます。
「通級による指導」は、通級による指導の必要が認められた場合に年度途中でも開始となり、学習上又は生活上の課題が改善・克服されれば、年度途中でも終了します。

「ことばの教室」って どんなところ？何をするの？

Q1 どんな子どもたちが通っていますか？

発音が誤っている、吃音（きつ音）があって困っている、言いたいことが適切な言葉で言えない、話の内容がよく理解できない等によって、話し言葉や言語発達による学習上又は生活上に支援が必要な子どもが通っています。

Q2 どのように指導を行うのですか？

個別の指導計画に基づき、週１回１単位時間（45 分）、１対１の個別指導を基本として、個の課題から設定した指導を行います。
吃音指導は、小人数グループで行う場合もあります。

＜具体的な指導内容例＞

- ○正しい発音を獲得するための指導（構音指導）
- ○正しい音と誤っている音の聞き分け練習（耳の訓練）
- ○音韻意識（語音を正しく認識し操作する力 逆唱等）
- ○吃音を正しく理解する学習、環境調整（吃音理解）
- ○吃音が出にくい話し方の練習（流暢性形成）
- ○発話意欲を高める働き掛け（コミュニケーション）
- ○語の理解と使用（語い指導）
- ○平仮名・片仮名の読み書き　　など

Q3 担当が「ことばの教室」で大切にしていることは？

オーダーメイドな授業をつくり、一人一人のニーズに応じます！

子どもとかかわる期間は、短くて２～３か月、長くなれば卒業までと、期間の長短はありますが、毎回の授業での子どもの反応を丁寧に見取り、一人一人に応じた授業をイメージします。構音障がいに吃音、そして学習言語の支援と多岐に渡る内容について支援し、子どもの自信を育みます。

活動に前向きに取り組み、努力する子どもを見守り、応援します。

「きこえの教室」って、 どんなところ？何をするの？

Q1 どんな子どもたちが通っていますか？

「きこえ」にニーズのある子どもが通っています。「きこえ」と一言でいってもその程度や聞こえ方は一人一人違います。補聴器や人工内耳を装用している場合が多いですが、片耳難聴や軽度難聴の子どもも通っています。

Q2 どのように指導を行うのですか？

個別の指導計画に基づき、週１回１単位時間（45 分）～２単位時間（90 分）の指導を行います。少人数のグループ学習や難聴のある子どもたちの交流会を行う場合もあります。

＜具体的な指導内容例＞

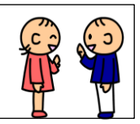
- ○補聴器や人工内耳を活用しての聞き取りの力を伸ばす指導（聴能指導）
- ○語いを増やしたり、言葉を正しく使ったりすることの指導（言語指導）
- ○聴力の変動、補聴器・人工内耳が正常に作動しているかのチェック（聴覚管理）
- ○コミュニケーションに関すること
- ○障がいの理解や自己理解に関すること　　など

Q3 担当が「きこえの教室」で大切にしていることは？

関係機関と連携して一人一人の「きこえ」のニーズに対応し、「分かる」「できる」「伝わる」をサポートします！

「きこえ」のニーズに寄り添い指導・支援することで、自分の「きこえ」の状況を理解し、「こうすれば聞き取りやすい」「こうすれば分かる・できる」「こうすれば伝わる」を増やします。困難を改善・克服して前向きに頑張ろうとする子どもたちの成長を見守り、応援します。

「まなびの教室」って どんなところ？何をするの？



Q1 どんな子どもたちが通っていますか？

対人関係やコミュニケーション、感情や行動のコントロール、集中力、かん黙、特定の学習に支援が必要な子どもたちが通っています。子どもたちが、学校生活の中で成功体験をたくさんすることができるよう、支援します。

Q2 どのように指導を行うのですか？

個別の指導計画に基づき、小学校では週１回１単位時間（45 分）、中学校では週１回１単位時間（50 分）、高校では週１回２単位時間（1 単位時間 50 分）の指導を行います。課題に応じて２～４人程度の少人数グループと個別指導を行います

＜具体的な指導内容例＞

- ○ボディコントロール、聞き取り課題、集中トレーニングなどの学習に向かう姿勢づくり
- ○ソーシャルスキルトレーニング
- ○対人スキル、会話スキル
- ○気持ちの表出やコントロールに関すること
- ○自分の特性等、自己理解に関すること
- ○特性に応じた学び方や本人に合った読み書き計算など学び方に関すること　　など

Q3 担当が「まなびの教室」で大切にしていることは？

保護者や学級担任と連携し、子どもの気持ちに寄り添いながら支援を重ねるなかで、成長する子どもを支援します！

子どもの気持ちに寄り添いながら、保護者や学級担任と連携してニーズに応じた指導を展開します。保護者や学級担任と課題を共有し、一緒に支援方法を探り、同じ方向で支援していきます。そのなかで、子どもが自分なりに課題をとらえて成長する姿を見守り、応援します。